

【飛島、オリコンサル 落合平石小水力発電所 完成と本格稼働祝う】

落合平小水力発電所 完成と本格稼働祝う

飛島、オリコンサル



テープカット

飛島建設とオリエンタルコンサルタンツが岐阜県中津川市内で建設を進めていた落合平石小水力発電所が完成し、12日に現地で行われた。青山節児市長やトマーズ・ドゥブチェコ共、和国駐日特命全権大使、地元関係者らが出席。施設の完成と本格稼働を祝った。両社が小水力発電事業に取り組むのは初めて。

落合平石小水力発電所（中津川市落合平石1336の523）は、大正時代に造られた農業用水路の未利用落差に着目。地元の理解と協力を得て、計画段階から行政、企業、地元が連携し事業を具体化。水路の一部を発電用に導水路として共用することで建設コストを削減。事業に合わせ劣化した水路と取水槽、沈砂池を改修したことで農業用水路の地域の将来的な維持管理費負担を軽減した。事業費は約2億5000万円。建設・運転費用は両社が出資、負担。発電した電力はすべて中部電力に供給、売電する。

設備概要は、水車が横軸クロスフローで流量変

業用水路の未利用落差に着目。地元の理解と協力を得て、計画段階から行政、企業、地元が連携し事業を具体化。水路の一部を発電用に導水路として共用することで建設コストを削減。事業に合わせ劣化した水路と取水槽、沈砂池を改修したことで農業用水路の地域の将来的な維持管理費負担を軽減した。事業費は約2億5000万円。建設・

運転費用は両社が出資、負担。発電した電力はすべて中部電力に供給、売電する。

設備概要は、水車が横軸クロスフローで流量変化に対し比較的安定した効率特性をもつ。有効落差は64㍎。定格出力は136キロワット。発電機は横軸三相誘導発電機、定格出力は126キロワット。水車、発電機はチェコ製。最大使用水量は毎秒0.25立方㍎。年間発電電力は約95万3000キロワット時で、一般家庭の300〜400世帯分に相当する。15年1月に着工、16年3月に完成。試験運転を経て1日から稼働している。

乗京正弘飛島建設執行役員副社長は「施設の完成、運転開始を迎えることができたのは地元関係者の協力のたまもの。当社の礎を築いた土地で再び貢献できることもうれしく感じる。事業を通じて地域発展の一助となることを願う」とあいさつ。青山市長も「官民、企業が連携したモデルケースとなる事業であり地域創生につながってほしい」と期待を寄せた。野崎秀則オリエンタルコンサルタンツ社長も「地域とともに進めてきた事業。今後も地域とともにインフラ整備を進めた」と語った。



完成した発電所

乗京正弘飛島建設執行役員副社長は「施設の完成、運転開始を迎えることができたのは地元関係者の協力のたまもの。当社の礎を築いた土地で再び貢献できることもうれしく感じる。事業を通じて地域発展の一助となることを願う」とあいさつ。青山市長も「官民、企業が連携したモデルケースとなる事業であり地域創生につながってほしい」と期待を寄せた。野崎秀則オリエンタルコンサルタンツ社長も「地域とともに進めてきた事業。今後も地域とともにインフラ整備を進めた」と語った。